

日本共産党の所属委員会が決まりました

公約実現に全力を尽くします



皆川けいし(中区)

総務委員会



中森辰一(西区)

厚生委員会



中原ひろみ(南区)

文教委員会



村上あつ子(東区)

建設委員会



藤井とし子(安佐南区)

経済環境委員会
副委員長

6月議会は6月下旬の予定です。請願・陳情などの申し出は、早めに議会事務局へ

議長に藤田博之氏 — 就任あいさつで「議会改革」表明

議長選挙の結果について

07年5月17日 日本共産党市議団

政務調査費の不正使用や費用弁償など議員特権に市民の批判が集まっており、日本共産党市議団は選挙の際も、これらの課題の解決を訴えました。

新議会の議長選挙に当たっては、議会が市民の信頼に応えるために、議会改革の課題を着実に進める人物が議長に就任するべきだと考え、その意思を明らかにした藤田博之氏を支持しました。藤田氏は、就任のあいさつで、政務調査費、費用弁償、海外視察などをあげ、改革を進めると述べました。

日本共産党市議団は、選挙公約実現の重要な課題と位置づけ、早急に議会改革が行われるよう引き続き働きかけていきます。



■議長選挙結果 投票数55票 有効投票数55票

藤田博之議員(市民市政クラブ、佐伯区)	31票
木島丘議員(自由民主党新政クラブ、安佐北)	21票
永田雅紀議員(爽志会、中区)	3票

■副議長選挙結果

投票数55票 有効投票数54票 無効投票(白票)1票	
児玉光禎議員(自由民主党新政クラブ、佐伯区)	32票
酒入忠昭議員(市民連合、南区)	22票

藤田議長の就任あいさつ(議会改革の部分抜粋)

…政務調査費の透明度を高める問題、費用弁償の問題、海外視察、議会だよりなど、議会運営の各分野で、議会改革をすすめて参らなければならないし、より一層の議会の活性化を図っていかなければならないと思います。不偏不党、公正無私で円滑な議会運営に努力をいたす所存です。

日本共産党 広島市議団ニュース

2007年5月17日 NO.734

ご意見をお寄せください

発行 日本共産党広島市会議員団

〒730-8586 広島市中区国泰寺町1-6-34
TEL 082-244-0844 FAX 082-244-1567



全領収書の自主公開にあたり 日本共産党市議団が記者会見

政務
調査費

6月定例会で 全面公開条例案提出の意向 発表



記者会見にのぞむ(左から)皆川、中森、中原、村上、藤井の各議員 = 5月18日、広島市役所内

日本共産党広島市議団(5人)は18日、市役所内で記者会見し、2006年度の政務調査費の使途を全面公開することを発表しました。領収書は会派控室で閲覧でき、市議団ホームページでもリストを見ることができます。

党市議団の06年度の支出総額は18,870,339円(交付総額20,400,000円)で、市への返還額(預金利息除く)は1,529,661円(市議団ニュースNo.732に詳報)です。

領収書添付 全会派で12% 現行制度の限界うきぼりに

今回から添付が義務付けられた5万円以上の領収書(人件費、事務所費除く)の合計は、日本共産党の場合4,742,482円で支出総額のおよそ25%です。

また、情報公開請求により、2006年度の全15会派の領収書添付は、支出総額に対して平均12.6%となることが判明。支出の大半が不透明となる現行制度の限界が浮き彫りとなりました。

会見で中森辰一幹事長は、「5万円以上の領収書を添付しても、わずか12%余りの使途しか明らかにならなかった。これでは市民の声にこたえられない」と強調し、今年度分から全面公開に踏み切るよう議会に働きかけたいと述べました。

※支払証明書

領収書がない場合には、会派代表者が発行する「支払証明書」を領収書代わりにすることが認められています。今回、ある会派は、添付した領収書13件のうち12件が支払証明書でした。

公金の使途公開は当然 「使途基準あいまい」は理由にならず

また、中森幹事長は「全面公開は使途基準が明確になってから」という意見が議会内にあることについて、「今でも市の条例にある使途基準にもとづいて使っている。公金を使うからには、その使途を公開するのが当然であり、公開できないということは説明できないということ。使途基準があいまいだということなら、そもそも使うこともできないということになる」と指摘しました。

費用弁償廃止条例も

皆川けいし団長は、領収書の代わりに「支払証明書(※)」を多用している会派があったことにふれ、「支払証明書ではなく領収書を添付するべきだ」と指摘し、6月定例会で政務調査費の全面公開と費用弁償廃止の条例改正案を提出する考えを明らかにしました。